

事業所における自己評価結果(公表)

公表令和3年2月15日

事業所名:ぱすてる (児童発達支援)

職員数11名 回収数9名

チェック項目		はい	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制設備	① 利用定員が指導訓練室等のスペースの関係で適切である	9		長期休暇等で利用人数が増える場合は放デイとの交流などで広いスペースも活用していくよう工夫します。体力を育む活動は公園等を活用させて頂いています。
	② 職員の配置数は適切である	9		常勤換算を1名以上超えるスタッフで対応しています。今後も継続して参ります。
	③ 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	9		視覚的コミュニケーションの活用、建物のバリアフリー化等障がい者の特性に配慮しています。今後も継続して参ります。
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	9		清潔保持に努め安心・安全に配慮した環境を心がけ実施しています。今後も継続して参ります。
業務改善	⑤ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	8		会議や意見徴収等職員の多くの参画に努めています。今後も継続して参ります。
	⑥ 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	7	1	評価の実施等によりご意向に沿うように努めています。今後も継続して参ります。
	⑦ 事業者向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	7	1	前年度は法人の園報およびホームページを活用して公開しました。今後も継続して参ります。
	⑧ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	6	2	第三者評価については今後検討いたします。
	⑨ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	8	1	研修計画を作成して全職員に研修の機会を設けています。今年度は新型コロナウイルス感染症の影響で研修の機会が少なく、事業所内自主研修を実施しました。
適切な支援の提供	⑩ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	9		アセスメントは二人体制で実施し、複数の視点で実施するようにしています。今後も研修を重ね、課題分析、個別支援計画作成のスキル向上にも努めます。
	⑪ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	9		千歳市の機関や病院で実施された発達検査の結果を活用させて頂いています。
	⑫ 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	8		児童発達支援ガイドラインを遵守して実施しております。今後も継続して参ります。
	⑬ 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	9		日々の振り返りやケース会議等で支援の確認を実施しています。今後も継続して参ります。
	⑭ 活動プログラムの立案をチームで行っている	8	1	利用者の状況を把握した活動プログラムとなるよう話し合う機会を設けています。今後も利用者の状況にあったプログラムの立案にチームで努めます。

	⑮	活動プログラムが固定化しないように工夫してる	8	1	固定化しないよう配慮しています。 活動プログラムの確認、立案等機会を増やすよう努めます。
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	9		一人ひとりの個性性と状況に応じて活動を考慮しています。また、個別支援計画にも記載しています。今後も個別支援計画研修への参加も継続的に実施し、技術の向上に努めます。
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	9		毎日、支援内容、役割、タイムスケジュールマニュアルを作成して確認しています。シフト制のため打ち合わせに参加出来ない場合は、作成したマニュアルでの確認を今後も徹底するよう努めます。
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有している	8	1	支援終了後の振り返りを毎回実施し、その後参加していない職員に伝達しています。伝達方法については、今後もより良い方法を検討して参ります。
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	9		実施しています。今後も継続して参ります。
	㉀	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	9		実施しています。今後も継続して参ります。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	8	1	通常は、保育士、児童指導員等に状況を聴取して児童発達支援管理責任者が出席しています。今年度は新型コロナウイルス感染症の感染対策のため、電話等での情報共有がほとんどでした。
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	9		実施しています。今後も継続して参ります。
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	6		現在、医療的ケアを実施しているケースはありませんが、必要に応じて連携体制を整えて参ります。
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	7		現在、医療的ケアを実施しているケースはありませんが、必要に応じて連携体制を整えて参ります。
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	8		実施しています。今後も継続して参ります。
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	8		実施しています。今後も継続して参ります。
	㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	6	1	児童発達支援センター等で実施している発達検査の結果を情報共有して必要な療育の助言を受けて個別指導等を実施しています。今年度は研修は中止となりました。今後も継続して参ります。
	㉘	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	4	3	通常は外出を通して交流できる場に出向いて活動しています。今年度は、新型コロナウイルス感染症の感染対策として交流外出は自粛しました。
	㉙	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	7		通常は自立支援協議会子ども部会へ参加、協力しています。(会議、行事、研修等)今年度は、自立支援協議会の会議・行事は中止となり、メール等での情報共有での協力となりました。
	㉚	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	9		連絡帳や口頭での引き継ぎを丁寧に実施するよう努めています。今後も継続して参ります。
	㉛	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	6	1	日々の対面での状況報告の際、支援の方法等の情報提供により実施しています。今年度は、新型コロナウイルス感染症の感染対策のため通常実施している保護者会は中止しています。

保護者への説明責任等	③②	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	8		契約時の運営規程の説明および利用料の説明を実施しています。今後も継続して参ります。
	③③	児童発達支援ガイドライン「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	8		実施しています。今後も継続して参ります。
	③④	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6	2	定期的および適宜ご相談をお受けする対応をしています。必要に応じ助言を行っています。今年度は、新型コロナウイルス感染症の感染対策のため、通信機器での実施が多くありました。今後も継続して参ります。
	③⑤	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	5	2	通常は行事の参観と保護者会を合わせて実施しています。今年度は、新型コロナウイルス感染症の感染対策のため保護者会は中止致しました。
	③⑥	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	9		ご相談等に対応する体制を整えると共に迅速な対応に心がけています。今後も継続して参ります。
	③⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	7		法人の園報および行事だよりにて発信しています。今後も継続して参ります。
	③⑧	個人情報の取り扱いに十分注意している	9		規定を設けると共に個人情報に配慮したマニュアルを作成しています。個人情報の取り扱いについての意識が低下しないよう意識づけの機会を今後も設けて参ります。
	③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	9		視覚的な情報伝達方法等を取り入れ配慮しています。今後も個別の対応も含めて配慮して参ります。
非常時等の対応	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	8		実施しています。マニュアルの見直しも必要に応じて実施して参ります。
	④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	8		避難訓練年3回実施しています。今後も継続して参ります。
	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認している	9		アセスメントの項目に組み込んでいます。今後も継続して参ります。
	④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	7	1	保護者より医師の指示を聞き取り、対応しています。今後も継続して参ります。
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	9		ヒヤリハットは閲覧出来るようファイリングしています。会議等で改善検討等実施しています。今後も継続して参ります。
	④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	8		通常は、法人内及び他の機関の研修に計画的に参加しています。今年度は権利擁護標語を作成し、毎日、1項目重点目標を設定して業務終了時に自己評価を上司に伝える方法で実施しました。
	④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	8		保護者への説明はアセスメント時に必ず行っています。計画に記載しています。今後も継続して参ります。

○ この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。